

令和7年度

第4回 新原小学校運営協議会 (みどりっ子育成協議会)



学習発表会（12月12日）

令和8年1月30日（金）14：00～
浜松市立新原小学校

令和7年度 新原小学校運営協議会委員
 (みどりっ子育成協議会)
 (敬称略)

1	田口 保司	元自治会長
2	岩谷 智之	元副自治会長・東原地区代表
3	山岸 麻美子	下善地区代表
4	森島 しのぶ	主任児童委員
5	鈴木 宏哉	P T A会長・保護者代表
6	下石 雅子	本村地区代表
7	嶋田 ゆかり	学校支援コーディネーター・保護者代表
8	クリステンセン勇美	学校支援コーディネーター・保護者代表
9	森田 歩	学校支援コーディネーター・保護者代表

オブザーバー	樋 通安	龜玉協働センター 職員
--------	------	-------------

学 校 関 係	小杉 英司	校長
	二橋 久美子	教頭
	片瀬 智美	教務主任
	寺本 舞子	C Sディレクター

第4回みどりっ子育成協議会

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長選出
- 4 前回会議録の確認
- 5 熟議
 - (1) 3学期の教育活動について
 - (2) 学校評価の結果を受けた令和8年度学校経営方針について(仮承認)
 - (3) 自己評価について

グループA…田口、森島、嶋田、森田
グループB…岩谷、山岸、鈴木、下石、クリステンセン
 - (4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告について
- 6 報告
 - (1) 学校支援活動について（コーディネーターより）
 - (2) 「いじめ」の現況について
 - (3) その他
 - 来年度の行事予定
 - R8年度学校運営協議会会予定
4／28(火) 7／27(月) 11／27(金) 1／29(金)
 - みどりっ子を育てる会予定
5／8(水) 9／18(金) 2／16(火)
- 7 連絡事項

令和7年度 第3回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年11月28日(金) 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 嶋田 ゆかり、クリステンセン 勇美、田口 保司、岩谷 智之、下石 雅子、山岸 麻美子、森島 しのぶ、森田 歩、鈴木 宏哉
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 梶 通安(龜玉協働センター職員)
- 6 学 校 小杉 英司(校長)、二橋久美子(教頭)、片瀬 智美(教務主任)、寺本 舞子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 山本 美世絵(学校・地域連携課 地域連携グループ)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 寺本 舞子
- 10 議長の選出 司会のクリステンセン委員から、議長の選出について田口会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
(1) 2学期の教育活動について
(2) 学校評価について(グループ協議)
(3) 自己評価について(グループ協議)
- 12 その他報告
(1) 学校支援活動について(コーディネーターより)
(2) 「いじめ」の現況について
(3) ゾーン30プラス・子供の居場所について
(4) 次年度以降の運営協議会委員について
(5) その他
- 13 会議記録
司会から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
(1) 2学期の教育活動について
議長の指示により、片瀬教務主任から2学期の教育活動についてスライドにて説明があり、委員からはスポーツフェスティバルに関して以下の発言があった。
・高学年の演技に感動した。ボランティアの協力もたくさんあった。(田口委員)
・子供たちが挨拶に来てくれたりして、学校の雰囲気がとても良いと感じた。(岩谷委員)
・高学年のフラッグの演技が特に良かった。(鈴木委員)
・子供たちメインの運営がとても良かった。継続してほしい。田口委員)

(2) 学校評価について(グループ協議)
片瀬教務主任から今年度の学校評価について集計結果の報告があり、その後2つのグループに分かれ課題と対策について協議を行った。
Aグループ(田口委員、森嶋委員、嶋田委員、森田委員)
・課題1 「気づき・考え・行動する」の評価
→内容を盛り込んだ形で追加アンケートの実施。

- ・課題2 家庭学習に対する意識の差
→目標を子供に明確に示す。保護者に面で伝える機会を増やし、学校と家庭の価値観のズレを修正する。
- ・課題3 挨拶について
→名前を呼んで挨拶する等、声の掛け方を工夫する。CSだよりを使って呼びかけをする。

B グループ(岩谷委員、山岸委員、鈴木委員、下石委員、クリスティンセン委員)

- ・課題1 「気づき・考え・行動する」の評価
→比較基準になるものが曖昧。目標を明確に子供たちに示す。
- ・課題2 家庭学習に対する意識の差
→子ども同士高め合う学びができるとよい。
- ・課題3 いじめへの不安全感
→学校は丁寧に対応しているが、子どもの主体性や調整力不足を感じる。
法律に則って経験を重ねて学んでいく必要がある
※ [] については今後やってみたいと思うこと。

(3) 自己評価について(グループ協議)

先日、委員から提出された自己評価の資料をもとに、今年度の学校運営協議会の自己評価について2つのグループに分かれて協議を行った。
出し合った意見をベースに次回の協議会で引き続き話し合うこととした。

その他報告

- (1) 学校支援活動について(コーディネーターより)
家庭科ミシン縫い補助の報告。現在、書初めボランティアを募集中。
 - (2) 「いじめ」の現況について(二橋教頭より)
 - (3) ゾーン30プラス・子供の居場所について(田口委員より)
申請を進めているゾーン30プラスの整備計画の紹介があった。
夏休みに実施した夏休みフリースペースについて開催報告があった。
 - (4) 次年度以降の運営協議会委員について
 - (5) その他
会議の終わりに教育委員会 学校・地域連携課地域連携グループの山本氏からあいさつがあった。
- ・司会から、次回会議は令和8年1月30日(金)午後2時からパソコン室で開催する旨の報告があった。

第3回学校運営協議会（みどりっ子育成協議会） 学校評価について

【教育活動全般について】

- 子供たちの満足度・自己肯定感は高い。
- 生き生きと活動できている。学習ボランティアとの関りも成果につながっているのではないか。学校に安心感、居心地のよさを感じていることも伝わってくる。
- 「自分らしさ」を生かすのはよいこと。「のびのびしていること＝幸せ」でウェルビーイングの実現につながっている。一方で現状に満足してしまっている点で心配もある。

【評価項目について】

- グランドデザインの中心になっている「夢の実」についての子供たちの評価はどうなのか。学校教育目標の「夢に向かって…」の「夢」をもてているのか、副題の「気づき・考え、行動する」について、どのくらい意識しているのかも測れるとよい。
- 評価する際の基準が曖昧。児童、保護者、教職員で目指しているものにずれがあるのではないか。

【今後の課題】

- 三者（児童、保護者、教職員）の価値観・基準のすり合わせ
→目標を明確に子供に示す。評価や取り組みに生かせるように個々の取り組み状況を可視化することで、達成感にもつながるのではないか。
- 家庭学習への取り組み
学び方を学ばせる。身に着けたいことは何かを明確にする。タブレット学習は保護者に取り組みが伝わりにくい面もある。
→個別最適にするために、児童、保護者と対面で取り組みの具体を話す場があるとよい。家庭学習の目標時間は適切なのか、検討が必要。
→今年度のように取り組みを全体で説明する場は今後も必要。参観会は貴重な場。
- 地域での挨拶
校門を入れば校長先生に挨拶できる。登校中は知っている友達、同じ通学班の子にも挨拶しない。
→各家庭での声掛けやひと工夫など、CSだよりを活用して伝えていくこともできる。
- いじめへの不安
保護者は依然として不安に思っている面がある。子供はハート面談や丁寧な対応のおかげで安心感をもてている。
→学校からの積極的な情報発信。伝え続けることで（できれば対面で）、共通理解を図っていく。
- 子供の居場所づくり
不登校傾向にある児童の困難さは家庭だけでは抱えきれない。
→今年度実施した「フリースペース子供の居場所」を次年度も継続できるような働き掛けをしていく。

令和7年度 新原小学校学校評価 追加調査

		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
1	「夢に向かって ともに輝く みどりっ子～気づき・考え、行動する～」を意識して、学校生活を送っている。	45	43	7	2	3	100 88
2	学校の中で「気づき・考え、行動する」ことができている。	46	44	8	2	0	100 90
3	なりたい自分の姿や、将来の夢がある	73	19	4	4	0	100 92
4	夢の実に書いた目標に向けて、がんばっている。	62	30	6	2	0	100 92

令和7年12月 追加調査実施

- ・どの項目でも、9割近い肯定的な評価が得られた。
- ・児童は、自分なりに目標をもち、努力をしている。
- ・評価の基準は示していないため、実際にどのくらい実践できているかについては、個人差が大きいと思われる。

R7 新原小学校 向上プラン

【学校教育目標】

夢に向かって ともに輝く みどりっ子 一気づき・考え、行動するー

目指す子供像

具体策

自己評価

学校関係者評価

改善策

【思いいっぱい】 学び合う楽しさ

- 自分の考えを伝える
- 相手を見て、反応して聴く
- 国語や算数の学習内容が分かる
- 進んで家庭学習をする

【授業改善】

- ・子供たちが「気づき・考え、行動」しようとする授業（新原スタイル）の立案と試行
- ・「聴く」を鍛え、深い学びへ
- ・家庭学習と授業の往還
- ・教科担任制の実施と情報共有
- ・校内OJTの実施

【学習習慣の確立】

- ・授業とつながる家庭学習への改善
- ・学習の約束の徹底（教師版・児童版）
- ・2分前着席1分前黙想の継続

【基礎学力の向上】

- ・子供の実態を踏まえた朝学習の実施
- ・朝読書の充実

・話を聞く意識はできている。話し方、聞き方が身についていない。
・基礎学力に大きな課題がある。子供がどれほどできているか、認識できていない。
・家庭学習への意識が低い。自主的に学習に取り組む姿勢が身についていない。
・時刻を守る意識はある。

【やさしさいっぱい】 かかわり合う心地よさ

- 相手を見て、朝の挨拶をする
- やさしい言葉遣いをする
- 時刻を守って生活をする

【安心できる学校・学級づくり】

- ・学校や学級づくりへの子供の参画（児童会・学級会の充実）
- ・構成的グループエンカウンター、QU年間2回、アンケートの実施

【思いやる心・自分づくりの力の醸成】

- ・「相手を見て、手を振って挨拶」の継続
- ・「よいこと見つけ」の取組の改善
- ・「みどりっ子ハートデー」「みどりっ子賞」の取組
- ・「夢の実」「キャリアパスポート」の取組の充実
- ・「キャリアカウンセリング」や「ハート面談による勇気付け」の取組

・重点項目の全てで、子供の自己評価は高いが、職員の評価は低い。
・担任以外には、進んで挨拶をしない子がいる。
・言葉遣いが乱暴な子が多い。
・自分で時計を確認せず、人の動きを見て行動している子が多い。
・ハート面談の取り組みで、担任との関係づくりができた。

【力いっぱい】 続ける大切さ

- めあてをもって運動をする
- 外に出て体を動かす
- 生活習慣を整える

【体力向上とその推進】

- ・各種運動カード等の活用と学級遊びの実施

【安全教育の推進】

- ・予告なし避難訓練の充実
- ・防災ノートの積極的な活用
- ・防犯教室の実施。
- ・交通指導の徹底、「交通事故〇の日」
- ・望ましい生活習慣の確立
- ・養護教諭によるT・Tの保健授業
- ・ノーメディアデーの実施（月1回）
- ・生活振り返りアンケートの実施

・水泳、持久走、スッフェス、新体力の際は、運動カードを活用し、目標をもって取り組むことができた。
・普段の体育の授業では、運動カードの活用が難しかった。
・避難訓練は、緊急事態を想定した訓練をしたい。
・ノーメディアデー、生活振り返りは生活習慣を見直すきっかけになった。しかし、改善にまで至らなかつた。

【成果】

- ・多くの項目で目標を達成できている。
- ・学校経営方針に沿った教育活動ができている。

【課題】

- ・身に付けさせたいことや学び方が明確でない。タブレット学習は取り組んだ内容が保護者に伝わりにくい。

【対策案】

- ・児童、保護者と家庭学習への取り組み方を具体的に話す機会をもつ。

・主体的に学習に取り組む授業づくりをする。
・温かい聞き方優しい話し方の取り組みをする。
・基礎基本の定着を図るために、朝学習に継続的に取り組む。
・家庭学習を段階的に取り組ませ、内容を精選する。

【課題】

- ・登校中、友達や地域の人々に挨拶ができない。
- ・いじめについて、依然不安を拭えない。
- ・夢をもてているのか。

【対応策】

- ・家庭での声掛け、CSだよりを活用した啓発をする。
- ・いじめ対応について積極的な情報発信をし、共通理解を図る。

・委員会による挨拶運動や挨拶メダルの方法の見直しをする。
・「さん」呼びの徹底
・ハートデーの実施方法を改善し、より子供の心に届く活動を行う。

【課題】

- ・自分らしくのびのびと活動できているが、現状に満足てしまっている。

【対応策】

- ・評価の基準を明確にし、個々の取り組みを可視化する。

・運動カードを、新体力テストの項目に基づいた内容に変更する。また、内容を保護者にも周知し、宿題で取り組めるようにする。
・避難訓練は、教員にも予告なしで実施する。振り返りは児童への指導だけでなく、職員間でも行う。

・掃除の仕方を掲示する。高学年の掃除の仕方を撮影して、各クラスで確認する。



令和 8 年度 新原小学校グランドデザイン



鷺玉中学校区 目指す子供像

浜松市の教育理念

- ★第4次浜松市教育総合計画策定・施行
(前期計画2年目)
- ◇基本理念：描く夢や未来の実現（それぞれのウェルビーイングの向上）
 - ◇3つのコンセプト：「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」
 - ◇目指す子供の姿
 - ・自分らしさを大切にする子供
 - ・他者と協働し、主体的に行動できる子供
 - ・自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

心を磨く 認め合い共によさを磨き合う子供

【学校教育目標】
夢に向かって ともに輝く みどりっ子
～気づき・考え、行動する～

学校が楽しい 100%
ウェルビーイングの実現 やさしさいっぱい 徳
(かかわり合う心地よさ)

国の教育理念

- ◇社会に開かれた教育課程の実現
- ◇「生きる力」・資質能力の育成
- ◇令和の日本型教育の構築（個別最適な学び・協働的な学びの往還）

思いいっぱい 知
(学び合う楽しさ)

- 授業では、内容や方法を自己決定し、進んで学習する
- 分かりやすく話す、反応して聞く
- 基礎基本が定着し、国語や算数の学習内容が分かる
- 家庭学習では、自分に合った方法で、進んで学習する

【具体的な取り組み】

- ・主体的に学習に取り組む授業づくりを考え、実践する。
- ・優しい話し方、温かな聴き方のステップ表に基づく指導を行う。
- ・基礎基本の定着を図るために朝学習の充実を図る。
- ・個に応じた主体的に取り組める家庭学習となるよう保護者と連携を図る。
- ・個に合ったレベルアップ学習への支援を行う。

- 相手を見て、笑顔で挨拶をする 90%
- 相手のことを考えて、やさしく温かい言葉遣いをする 90%
- 時刻を守って生活をする 90%

【具体的な取り組み】

- ・教師が手本となり挨拶をするとともに、委員会の児童とも連携していく。
- ・ソーシャルスキルトレーニングを通して、自己肯定感の向上やストレスの軽減を図る。
- ・児童も教師も「さん」呼びを徹底する。
- ・時計を見て行動できるよう支援していく。



教育の推進
A

学年・学級づくり

発達支援教育の理念(子供理解)

力いっぱい 体
(続ける大切さ)

- めあてをもって運動をする 90%
- けがの予防に心掛け、積極的に体を動かす 80%
- 生活習慣を見直し、整える工夫をする 90%

【具体的な取り組み】

- ・運動カードと新体力テストを関連させ活用を図る。
- ・養護教諭等による「けがの予防」の授業を実施する。
- ・生活振り返りカードから自分の生活を振り返り、記録を継続して残す。
- ・情報モラルについて、保護者とも学べる場を作るとともに、自分で考えさせるモラル指導の場を設定する。

C
J

<地域>

<家庭>

「みどりっ子育成協議会」との連携
「みどりっ子を育てる会」との連携
「鷺玉中学校区健全育成会」との連携

みどりっ子育成協議会

みどりっ子を育てる会

「新原小学校 PTA」との連携・連動
(集団登校班編成、交通安全の見守り、アルミ缶回収・資源回収・制服バザー 等)
【教育相談、懇談会、ブログ、学校便り 等】

私が・私たちが、
「気づき・考え、
行動する」

〔目指す学校の姿〕

子供の笑顔が輝き、家庭・地域とともに創る、みんなが幸せな学校

《チーム 新原小》 ~レジリエンスの向上~

<教職員>としての心構え

☆子供を第一に考える ☆保護者・地域との信頼関係を築く
◇ワーク・ライフバランスを心掛ける ◇常に自己研鑽に努める



令和7年度 学校運営協議会委員 自己評価 集約

＜本年度の目標＞ 地域と学校のウェルビーイングを目指すコミスク

～学校と地域の視点をあわせ、子供が毎日楽しく通える安心安全な学校づくりを目指す～

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・グランドデザイン、基本方針の説明を受け、熟議により理解を深めた。(前年との変化点、追加内容について理解した。)
- ・基本方針・グランドデザインを確認し、熟議を通して、みどりっ子育成協議会の意識が高まったように思う。
- ・校長先生の説明もわかりやすく、各委員のそれぞれの立場からの視点で意見交換ができ、熟議することができた。
- ・学校が必要とする活動や支援を理解し、それぞれの立場から意見交換ができたと思う。また、「子供たちのため」という意見が一致し、学校・地域・家庭での役割も明確になった。さらに深いつながりを作っていく、子供たちの安心安全を守っていく環境を整えていくという気持ちが高まり、内容のある熟議ができたと思う。
- ・資料をもとに、疑問点や具体的に説明してほしい点など質問し、校長の回答により、理解・情報共有することができた。
- ・子供たちの夢の実現のために、学校が必要としている支援を知り、地域と連携してどんなことができるのか熟議できた。
- ・グランドデザインについて熟議できた。
- ・「学校経営方針」に基づき、今年度の学校教育目標や重点的取り組みについて、理解を深めることができた。「学校教育目標」の「夢に向かって～」の”夢”とは具体的な職業ではなく、”なりたい自分”であることを確認できた。
- ⇒学校運営の基本方針を理解し、熟議できた。「子供たちのため」「子供たちの夢の実現のため」の取り組みであることを確認できた。「夢」とは広義なものであることが共通理解できた。いじめ対策、子供たちの安心のための取組みとしての「ハート面談」「ハートデー」への取組みについて熟議できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・教育活動における課題・懸案について熟議を進められた。(いじめの現況・対応について/家庭学習のあり方/支援ボランティア等)
- ・子供たちが楽しい学校生活が送れるよう、学校支援コ-ティネ-タ-を中心に、地域ボランティア・保護者ボランティアを募ってくれ、世代を超えた方々との交流ができている。
- ・地域と連携した結果の新しい取り組みを始めることができ、学校支援の分担が明確になりつつあると思う。
- ・学校・地域・家庭それぞれの意見が一致したことにより、同じ方向を目指し実行することにより、熟議も深まつたと思う。いじめ対策も引き続き子供たちに寄り添い、ハート面談を設けるなど、一人ひとりの気持ちを学校が大切にしてくださっている。まだまだ、問題点などもあるが、家庭でもできることなど熟議ができたと思う。地域・保護者ボランティア活動も増え、熟議できたが、課題は残ると思った。
- ・教育活動をスライド画像で紹介していただくことで、よりイメージしやすく活動が理解できた。「担任から要望があった

「ボランティア」の項目を具体的に提示されており、より分かりやすく地域の役割やできることを見直すことができたよう
に思う。グループワークにより、活発な意見交換を行うことができた。夏休みこども居場所づくりは大きな成果だったと
思う。

- ・家庭学習の内容や取り組みについて、問題点や課題、家庭や地域で支援できることはいかが議論できた。いじめ
対策→ハート面談・ハートマーク設置⇒いじめの認知件数の前年度同期より減少 フリースペース子供の居場所の設
置・ゾーン30プラスについて議論
- ・今後必要とされる学習ボランティアについて確認することができた。・交通安全対策として「ゾーン30プラス」の設置に
向けて、学校と地域で取り組んでいることを共有した。
⇒学校で必要とされる支援の具体について理解したり、地域・学校・家庭の役割について見直したりできた。
また、学校の課題や地域等でできる支援について議論できた。「子供の居場所」設置や「ゾーン30プラス」につい
ても共有できた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・コミスクだよりを活用 地域・保護者への情報発信を進めた。(内容の充実、発行回数増、自治会掲示板の活用
等)
 - ・”コミスクだより”において、協議会の内容の掲載や写真(子供たちの様子)をたくさん取り入れて、保護者や地域の
方々が目に留まりやすい構成で発信してくれた。
 - ・コミスクだよりの発信を定期的にしていることで、少しずつ定着してきていると思うが、もっと広めていくように努力・
工夫の必要性はあると思う。
 - ・学校からはHPや保護者へさくら連絡網にて情報を発信・地域へは回覧板。CSからも協議会での内容やボランティア
活動内容をコミスクにて発信している。少しでも目に留まるよう工夫はしているが、もう少しCSだよりの頻度を上げ
てもよいかもしれない感じている。学校の内容やボランティア活動に興味を持つてもらえるように、今後は工夫してい
きたいと思う。(近隣のお店にコミスクだよりを掲載してもらうよといふ。)
 - ・地域の回覧板で目にすることがあった。レイアウトも工夫され、読みやすい資料であったと思う。夏休み「子供の居
場所」は多数の児童が集まり、発信の効果があった。十分であったかは、アンケート等とらないと評価が困難である。
 - ・協議内容をコミスクだよりやHPで発信し、認知度を上げよう努めた。
 - ・さくら連絡網にコミスクだよりを掲載→CS認知状況の評価方法の検討が必要。
 - ・コミスクだよりはカラー写真をふんだんに使い、簡潔で分かりやすい。また、地域や保護者のボランティアと生徒が一
緒に生き生きと活動している様子が伝わる。
- ⇒「コミスクだより」を使って効果的に情報を発信できた。内容・紙面構成等工夫されていた。自治会掲示板に掲示
してもらうこともできた。今後も工夫・改善を重ね、継続していく。地域ボランティアの紹介なども計画していく。また、
今年の評価をもとに、次年度以降も認知度を測っていく。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・地域と学校のウェルビーイングを目指すコミスク!! 地域と共に安心・安全な学校づくりを目指す
 - ・来年度も継続し、中身が充実するよう進めていけたらと思う。
 - ・今年度の目標も今まさに道のりの途中と思うので、引き続き同じでよいのではと思う。サブタイトルだけ、少し変更するくらいでもよいのでは。
 - ・引き続き、「地域と学校のウェルビーイングを目指すコミスク」を掲げ、地域・家庭が一体となり、学校、そして子供たちを守る取り組みができたらと思う。認知度を上げ、一人一人が一員だという気持ちをもってもらうために、積極的に情報を発信していきたいと思う。
 - ・積極的な情報発信の継続。学校教育活動がスムーズに充実して行えるよう、地域の役割やできること、支援できることを共に考え、協力体制を引き続き整えていく。
 - ・学校を身近に感じてもらえるように、学校やCSの活動をコミスクだよりで分かりやすく伝える。
 - ・CS認知度UP、いじめや交通安全対策など地道な取り組みにより、今年度の目標「～ウェルビーイング～」は達成されつつある。しかし、個別最適な学び、部活動の地域移行、放課後の子供の居場所などに関する保護者の不安を耳にする。このような保護者の不安を理解し、寄り添えるコミスク、心の支えとなるコミスクを目指したい。
- ⇒「地域と学校のウェルビーイングを目指すコミスク」は継続。サブタイトル変更を検討。次年度の重点項目をサブタイトルとして示す。

R7年度 地域ボランティア・保護者ボランティア活動実績

	学年	教科	内容	協力者	人数
4月	全学年	総合	交通安全教室	交通指導員	2名
5月	5年	総合	食材トラベラー	浜松市	4名
6月	5年	総合	福祉教室	天竜厚生会	6名
6月	5年	総合	下水道教室	浜松市下水道部	2名
6月	5年	総合	環境問題とは	浜松市	3名
6月	5年	総合	海のゴミ	浜松市	1名
6月	5年	総合	外来生物	浜松市	2名
7月	6年	総合	薬学講座	学校薬剤師	1名
9月	1. 2年	学活	情報モラル講座	浜松市	1名
9月	5・6年	総合	情報モラル講座	浜松市	1名
10月	6年	総合	万葉講座	伎倆の茶屋	6名
10月	4年	総合	認知症講座	地域包括支援センター しんぱら	6名
10月	5年	総合	環境問題にeお買い物	浜松市	2名
11月	3・4年	総合	情報モラル講座	教育委員会	1名
11月	3年	総合	スクール119	浜松市消防局	8名
1月	5年	総合	金融消費者教育	明治安田生命	名

R7年度 地域ボランティア・保護者ボランティア活動実績

	学年	教科	内容	協力者	人数
5月	2年	生活科	まちたんけん（瑞応寺）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（あしあと）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（中野観葉植物園）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（翠月）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（杏林堂）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（ワークマン）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（しまむら）	地域店舗・施設・企業等	1名
5月	2年	生活科	まちたんけん（付き添い）	保護者ボランティア	10名
7月	4年	生活科	天竜エコテラス・於呂浄水場	地域店舗・施設・企業等	
6・7月	5年	家庭科	裁縫（手縫い）	地域/保護者ボランティア	11名
6・10月	4～6年	クラブ活動	スナッグゴルフ	保護者ボランティア	2名
6・10月	4～6年	クラブ活動	グラウンドゴルフクラブ	長寿会	10名
6・10月	4～6年	クラブ活動	華道クラブ	地域ボランティア	3名
6・10月	4～6年	クラブ活動	絵手紙クラブ	絵手紙サークルたねの会	5名
6・10月	4～6年	クラブ活動	卓球クラブ	地域ボランティア	2名
6・10月	4～6年	クラブ活動	マジッククラブ	浜北マジッククラブ「トリック」	4名
6～7月	全学年	体育	水泳	保護者ボランティア	25名

9・11月	5・6年	委員会活動	飼育栽培委員会（草取り/花の植え替え）	地域/保護者ボランティア	3名
9～11月	5・6年	家庭科	裁縫（ミシン）	地域/保護者ボランティア	11名
10月	3年	総合	緑花木センター・ファーマーズマーケット見学	地域店舗・施設・企業等	
12月	3～6年	書写	書き初め	地域/保護者ボランティア	8名
通年	3～6年	外国語	英語指導	地域ボランティア	1名
通年	全学年	おはなしタイム	読み聞かせ	地域/保護者ボランティア	22名